令和４年度 事業実施報告

（令和４年４月１日～令和５年３月３１日）

● 渉外部会

担当副会長	藤井　孝	アイビーエージェント株式会社
部会長	福野　泰介	株式会社 jig.jp
副部会長	吉村　一男	インプロジャパン株式会社
副部会長	今村　善孝	大電産業株式会社
副部会長	田﨑　健治	ミテネインターネット株式会社

1　行政機関および関連団体等との連携

（１）行政機関等との情報交換・交流

北陸情報通信協議会総会（書面決議）

福井県環境・エネルギー懇話会総会（書面決議）

福井県経済団体連合会事務局責任者会議（２月１０日）

福井県経済界サマースクール（８月３０日）

新たな経済ビジョン策定に向けた業界団体との意見交換（１０月１３日）

知事を囲む経団連加盟首脳会議（１１月２日）

（２）関係団体等との交流

① 福井県ＩＴ産業団体連合会への参画

ア 役員会

第１回

開催日時：令和４年６月２７日（月）

開催場所：ザ・グランユアーズフクイ

議題：令和３年度事業報告および収支決算報告について

令和４年度収支予算案について

ふくいＩＴフォーラム２０２２の開催について

ふくいソフトウェアコンペティションについて

第２回

開催日時：令和５年１月１７日（火）

開催場所：ザ・グランユアーズフクイ

議題：役員の選任について

令和４年度事業実施状況および収支状況報告について

ふくいＩＴフォーラムの剰余金について

令和５年度事業実施計画及び収支予算について

新年賀詞交歓会について

イ 賀詞交歓会

開催日時：令和５年１月１７日（火）

開催場所：ザ・グランユアーズフクイ

出席者数：４０名（うち来賓７名）

② 福井県プロバイダー防犯連絡協議会への参画

開催日時：令和４年１２月２３日（金）

開催場所：WEB 会議

議題：令和４年度活動報告、令和５年度活動予定など

③ 北陸情報通信協議会への協力

会員として参加し、協議会からの各種情報を会員に広報

情報通信月間行事に参加（通常総会後の講演会）

④ 科学技術高校との連携

第１回コンソーシアム全体会　５月２３日（月）

課題研究見学週間　１１月７日（月）～２１日（月）

課題研究発表会・第２回コンソーシアム全体会　１月３１日（火）（福野部会長）

産業技術探求課題解決学習発表会　２月２４日（金）（小森会長）

2 会員の拡充

新規会員：なし

退会会員：株式会社管理工学研究所

3 セミナーの開催

開催日時：令和４年１０月２５日（火）１６：００～１７：００

開催場所：繊協ビル６０３号室

演題：電帳法対応を含めたペーパーレス起点の働き方改革

講師：㈱ＰＦＵ　ドキュメントイメージング事業本部　平間　公敏　氏

参加者：１８名

● 総務・企画部会

部会長	藤本　潤一	株式会社バリューリンクス
副部会長	東　　郁雄	株式会社ビジュアルソフト
副部会長	野口　邦治	株式会社福井新聞社
副部会長	佐野　慎治	福井ネット株式会社
副部会長	岡田　　英男	三谷商事株式会社

1　各種会議の開催

（１）第４７回通常総会等の開催

開催日時：令和４年５月３１日（火）１４：４５～１５：５０

開催場所：ザ・グランユアーズフクイ

① 通常総会

議題：令和３年度事業実施報告及び令和４年度事業計画に関する件
令和３年度収支決算報告及び令和４年度収支予算に関する件
定款の変更に関する件
理事及び監事の選任に関する件

出席者：４１名（うち委任状１２名）

② 講演会：デジタル庁の目指すデジタル社会の展望
デジタル庁データ戦略統括　平本　健二　氏
参加者５９名

③ 懇親会：参加者４０名

（２）理事会の開催

第２９３回理事会（４月７日、開花亭）
第２９４回理事会（５月３１日、ザ・グランユアーズフクイ　瑞雲）
臨時理事会（５月３１日、ザ・グランユアーズフクイ　ロビー）
第２９５回理事会（７月２５日、繊協ビル６０４号室）
第２９６回理事会（１０月２５日、繊協ビル６０３号室）
第２９７回理事会（１２月６日、いわしや）
第２９８回理事会（２月２２日、アオッサ６０７会議室）

2　ふくいＩＴフォーラム２０２２への参画

福井県ＩＴ産業団体連合会主催の「ＩＴフォーラム２０２２」の企画委員として、企画・運営等に参画した。

企画委員会：第１回　令和４年４月１５日（金）アオッサ６０１Ａ会議室
第２回　令和４年９月６日（火）（オンライン）
出展者説明会を併せて開催（オンライン）
第３回　令和５年３月８日（水）　アオッサ６０３会議室

ワーキング　　第１回　令和４年７月１１日（月）㈱バリューリンクス＋オンライン
第２回　令和４年９月２日（金）㈱バリューリンクス＋オンライン
第３回　令和４年１０月１１日（火）㈱バリューリンクス＋オンライン

※ ふくいＩＴフォーラム２０２２
開催期間：令和４年１０月２０日（木）・２１日（金）
ウェブ開催：１０月３日（月）～３１日（月）（１１月３０日（水）まで延長）
開催場所：福井県産業会館、福井県中小企業産業大学校
出展者数：３２企業・団体（５２小間）
セミナー：「アジャイルによるＤＸと企業変革の実践」平鍋 健児 氏
「ないならつくっちゃえ！」牧田 恵里 氏
学生向けイベント：ＩＴフォーラムガイドツアー、ＩＴ業界情報コーナー
来場者数：16,280 名（初日 8,448 名、最終日 7,832 名）

3 会員に対する各種情報の提供

国、県および各種団体からの公募、講演会、研修会等の情報を会員に提供した。

4 福井労働局が実施する事業への協力

福井労働局からの委嘱を受け、労働者派遣事業適正運営事業協力員を派遣した。
協力員：副会長　藤井 孝 氏

5 会員交流会の開催

会員相互の親睦と交流を促進するため、会員交流会としてゴルフ大会を開催した。
開催日：令和４年１０月１日（土）
開催地：芦原ゴルフクラブ 湖コース
参加者：１６名

6 工業会パンフレットの制作

前回制作から４年が経過し、内容をアップデートする必要があるため、工業会パンフレットを制作した。
Ａ３判２つ折＋Ａ４判別紙、１０００部

7 部会の開催

事業の企画と実施状況確認のため、部会を開催した。
開催日時：令和４年６月２３日（木）１６：００～１７：００
開催場所：㈱バリューリンクス＋オンライン
検討議題：ふくいＩＴフォーラム 2022 について
会員交流会について
出席者数：７名

● 技術部会

担当副会長	木下　克則	株式会社Ｋ２アドバンスト
部会長	後　　淳也	三谷コンピュータ株式会社
副部会長	磯橋　秀典	日本電気株式会社福井支店
副部会長	佐藤　浩一	福井コンピュータホールディングス株式会社
副部会長	大島　恵美子	富士通 Japan 株式会社福井支店

1　技術者等を対象とした講習会の実施

（新型コロナウイルス感染拡大のため中止）

2　先進企業等への視察研修の実施

（新型コロナウイルス感染拡大のため中止）

3　福井工業大学 AI ＆ IoT コンソーシアムへの参画

（１）学外ボードメンバーとしての参画（後部会長、福野部会長）

ボードメンバー会議　１２月２１日（水）福井工業大学

（２）設立シンポジウムへの参画（後部会長、福野部会長）

日時：２月１日（水）１４：２０～１７：５０

会場：福井工業大学 2-802 教室＋オンライン

4　関係機関等との連携

ＩＴ関連の展示・発表会やセミナー等について、後援等を行った。

第６回越前がにロボコン	福井県こどもプログラミング協議会
ET & IoT West 2022	（一社）組込みシステム技術協会
ふくいＩＴエンジニア養成スクール	（公財）ふくい産業支援センター
Matching HUB Kanazawa 2022	北陸先端科学技術大学院大学
いしかわ情報システムフェア	（一社）石川県情報システム工業会
ＩＴ経営カンファレンス 2022 in 福井	ＮＰＯ法人福井県情報化支援協会
とやまＩＴフェア 2022	（一社）富山県情報産業協会
北陸情報通信講演会	総務省北陸総合通信局
福井工業大学講演会	福井工業大学 AI&IoT センター
サイバーセキュリティデイズ 2023	総務省北陸総合通信局
サイバーセキュリティ地域別セミナーin 福井	（一社）関西情報センター

5　セミナーの開催

開催日時：令和４年７月２５日（月）１６：００～１７：３０

開催場所：繊協ビル６０４号室

演題：福井工業大学 AI ＆ IoT センターの活動実績 ～ 今後の産学官連携構想

講師：福井工業大学 AI ＆ IoT センター長（当工業会参与）　芥子　育雄　氏
参加者：１９名

6　部会の開催

事業の企画と実施状況確認のため、部会を開催した。

第１回

開催日時：令和４年６月２１日（火）　１３：３０～１５：００
開催場所：三谷コンピュータ㈱＋オンライン
検討議題：産学官連携について
次回理事会におけるセミナーについて
先進企業視察研修について
技術者向け講習会について
ハイブリッド会議について
出席者数：９名

第２回

開催日時：令和４年１２月５日（月）　１３：３０～１５：00
開催場所：オンライン
検討議題：福井工業大学 AI＆IoT コンソーシアムへの参画について
技術視察について
出席者数：９名

● 人材確保・育成部会

担当副会長	小山 嘉雄	株式会社永和システムマネジメント
部会長	向井 邦彦	福井システムズ株式会社
副部会長	新山 史朗	株式会社江守情報
副部会長	品川 祥郎	北信テレネックス株式会社福井支店
副部会長	土谷 秀靖	株式会社マルツ電波

1 ふくいソフトウェアコンペティション２０２２への参画

（公財）ふくい産業支援センターが行う「ふくいソフトウェアコンペティション」について、審査員の派遣や賞の供与などに協力した。

※ふくいソフトウェアコンペティション 2022

日程：応募締切　令和４年１０月１４日（金）

予備審査　令和４年１１月１２日（土）

本審査／表彰式　　令和４年１２月３日（土）

応募作品：１７点

入賞作品：１１点（福井県ＩＴ産業団体連合会会長賞など）

審査委員：藤井 孝 氏、 菅安 啓二 氏

2 学生を対象とした人材確保

（１）大学への講師派遣

① 福井大学

工学部「ソフトウェア工学」（３・４年）

「会社経営の視点から見たソフトウェア工学」江守情報㈱　新山 史朗 氏

「開発現場におけるソフトウェア工学の実践的側面」永和システムマネジメント㈱ 岡島 幸男 氏

② 福井県立大学

学術教養センター「情報科学」（１年）　まるおかディジタル㈱ 佐藤 英治 氏

生物資源学部「情報生物学」（３年）　㈱jig.jp 福野 泰介 氏

経済学部「キャリアデザイン特論」（２年）　三谷コンピュータ㈱ 後 淳也 氏

（２）学生へのＩＴ業界の情報提供

① 福井大学学生への事業説明会

日時：令和５年１月２０日（金）１４：４５～１６：３０

会場：福井大学文京キャンパス

内容：会員企業による事業説明

参加企業：９社

参加学生：２８名

② 福井大学ＯＢと学生の交流会

日時：令和５年１月２０日（金）１３：００～１４：１５

会場：福井大学文京キャンパス

内容：会員企業で働く若手社員（福井大学ＯＢ）と学生との懇談

参加企業：４社（５名）

参加学生：１０名

③ ＤＸオープンラボにおける学生対象のイベント（後掲：ＤＸオープンラボ運営委員会）

ふくいＤＸチャレンジ（8/25-26、11/12-13）

④ ＩＴフォーラムにおける学生対象のイベント（前掲：総務・企画部会）

セミナー「ないならつくっちゃえ！」

ＩＴフォーラムガイドツアー

ＩＴ業界情報コーナー

３ そのほかの人材確保

外国人人材受入れ事業（後掲：ＤＸオープンラボ運営委員会）

ミャンマー人女性（福井システムズ㈱、福井コンピュータホールディングス㈱）

４ セミナーの開催

開催日時：令和５年２月２２日（水）１６：００～１７：００

開催場所：アオッサ６０７会議室

演題：県の令和５年度予算の概要と外国人人材の活用について

講師：福井県産業労働部創業・経営課長 藤野 立秀 氏

株式会社ジェイサット ゼネラルマネージャー 森川 晃 氏

参加者：２２名

５ 部会の開催

事業の企画および実施状況確認のため、部会を開催した。

開催日時：令和４年１１月２４日（木）１０：００～１１：００

開催場所：福井県産業情報センター５階会議室Ｃ

検討議題：人材確保・育成施策について

福井大学学生との交流会について

出席者数：７名

● ＤＸオープンラボ運営委員会

運営委員長	小山 嘉雄	永和システムマネジメント株式会社
副委員長	大島 恵美子	富士通 Japan 株式会社福井支店
副委員長	藤本 潤一	株式会社バリューリンクス
副委員長	中田 潤一	株式会社ドコモビジネスソリューションズ

（公財）ふくい産業支援センターからの委託を受け、ふくいＤＸオープンラボの管理運営および関連事業を実施した。

1 外国人材の受入れ

エー・チャン・モー氏（ミャンマー人女性）

6/1～11/30 福井システムズ株式会社に派遣

12/1～2/28 福井コンピュータホールディングス株式会社に派遣

2 ＤＸ推進を支援するＩＴ企業向け研修

（１）セミナー

１０月２１日（金） 福井県中小産業大学校大教室

演題：アジャイルによるＤＸと企業変革の実践

講師：永和システムマネジメント㈱代表取締役社長 平鍋 健児 氏

参加者：４３名

（２）研修

アジャイル開発の基礎	１１月１８日（金）	受講者９名
アジャイル開発の基礎	１２月１２日（月）	受講者８名
プロダクトオーナーの基礎	１月２３日（月）	受講者８名

3 ふくいＩＴフォーラムへの出展

ふくいＩＴフォーラムにＤＸオープンラボのブースを出展（10/20～21、福井県産業会館）

展示物：ＶＲグラス３台、ＡＩカメラによるメータ読み取り１台、ＤＸ企業診断１台

来訪者：３０５名

4 県内学生等を対象としたシステム開発・交流イベント（ふくいＤＸチャレンジ）

第１回（８月２５・２６日、繊協ビル１０階ホールＡ）

テーマ：足りないモノは、自分でつくる

参加者：１３名

第２回（１１月１２・１３日、福井県立大学地域経済研究所）

テーマ：ほしいものは、自分でつくる

参加者：１３名

5　来館者および相談者

来館者：延べ１，５２９名

相談件数：２５１件

勉強会・研究会：２６回（参加者２６２名）

6　定例会、委員会の開催

（１）定例会（県および産業支援センターとの打合せ会議）

４月１２日、5月１０日、6月６日、7月４日、8月５日、8月３１日

１０月３日、１１月２日、１２月５日、1月１１日、2月６日、3月７日

（２）委員会

４月２６日（火）　ホテルエコノ福井

県内学生等を対象としたシステム開発・交流イベントの企画検討

８月３１日（水）　情報システム工業会事務室

第２回ＤＸチャレンジに関する検討

９月２日（金）　オンライン

第２回ＤＸチャレンジに関する検討

３月７日（火）　情報システム工業会事務室

令和５年度受託事業企画提案書に関する検討

● 越前がにロボコン実行委員会

委員長	土谷 秀靖	株式会社マルツ電波
副委員長	松田 由美子	スピリッツ・スマイル
メンバー	野口 邦治	株式会社福井新聞社
メンバー	原　　秀一	株式会社 ict4e
メンバー	松田　優一	株式会社ナチュラルスタイル

第６回越前がにロボコンの概要

1. 開催日　　令和４年 12 月 17 日（日）10：15～16：00
2. 会　場　　ショッピングシティ・ベル　3 階 あじさいホール
3. 主　催　　福井県こどもプログラミング協議会
4. 共　催　　（株）福井新聞社　（一社）福井県情報システム工業会
5. 後　援　　総務省　福井県　福井県教育委員会　福井商工会議所
   福井大学　福井工業大学　福井工業高等専門学校
   NHK 福井放送局　FBC　福井テレビ　福井県機械工業共同組合
6. 大会の目的

   福井県の冬の味覚の王様「越前がに」を県内外に広くアピールするとともに、子どもたち（小・中学生）が自律型ロボットを制作し自動制御させることにより、科学技術を身近に体験してもらう機会を提供する。また、2020 年から小学校で開始された「プログラミング教育」への興味を養う。
7. 大会の内容

   市販ロボットキットを使って自作したロボットで競技に挑戦する。ロボットの形状がカニがイメージ出来るものであること。モーター・センサー（光、タッチ、超音波）・機構を使い。決められたコースを自動で走行させミッションの達成度とタイムを競う。

   ▶ エントリー部門

   小学生のみ対象。ロボットの機構に制限は無し。レアメタルの位置が事前に告知されている。激レアメタルの個数は１個。

   ▶ 歩行型ロボット部門

   小・中学生対象。歩行型のロボットであること。レアメタルの位置は当日に告知される。激レアメタルの個数は３個。

   ▶ オープン部門

   年齢制限なし。歩行型のロボットであること。レアメタルの位置は当日に告知される。激レアメタルの個数は３個。宇宙ウイルスを持ち帰ると減点。

第６回越前がにロボコン開催結果

越前ロボコンへの参加者を募るため、昨年同様に県内で開催しているロボコン教室と小中学校に協力をお願いした。７教室からの参加とこどもプログラミング実業団１団体、WEB からの個人参加８チームを含めて、エントリー部門：15チーム、歩行型ロボット部門：15チーム、オープン部門：６チームの合計 36 チーム、42 名が参加した。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、例年より短く、10:15 から予選を行い、13:00 より本選を行った。

エントリー部門、歩行型部門よりそれぞれ優勝ならびに準優勝、オープン部門、デザイン部門優勝の各チームに賞が贈られた。

▶ エントリー部門

優勝：高橋　想生　社南小５年　スピリッツ・スマイル

２位：中島　陸人　黒河小３年　嶺南地区ロボコン競技推進会

▶ 歩行型ロボット部門

優勝：森井　健太　勝山南部中２年　個人

２位：佐藤　健太郎　　附属中３年　IchigoBase

▶ オープン部門

優勝：松嶌　倖生　嶺南地区ロボコン競技推進会

▶ デザイン部門

優勝：村上　晴悠　明新小６年　NPO 法人 Bumps

● DX 化検討委員会

委員長	福野 泰介	株式会社 jig.jp
行政手続分科会		
委員長	福野 泰介	株式会社 jig.jp
メンバー	吉村 一男	インプロジャパン株式会社
	今村 義孝	大電産業株式会社
	山内 登志美	BIPLOGY 株式会社
	向井 邦彦	福井システムズ株式会社
	大島 恵美子	富士通 Japan 株式会社
	倉田 鋼志	NTT 西日本福井支店
	小森 聡	ユニコシステム株式会社
サイバーバレー委員会		
委員長	後 淳也	三谷コンピュータ株式会社
副委員長	帝都 久利寿	コネクトフリー株式会社

行政手続分科会

事業概要

スムーズで誰もが安心を納得できる電子申請は、円滑な経済活動の要であり、県内 GDP アップのベースとなる。福井県にて、いちはやく実証・実用化し、国へ報告し、開発したシステムを他県、他国へと横展開することによる福井県への IT 産業の拡大、IT セクターの売上増を狙う。

活動実績

・ゼロトラスト研究会（１０月から「Internet3 研究会」に名称変更）の開催

LAN など、小さなネットワーク内を安全とする境界型セキュリティから脱却する、世界中のすべてのコンピューターと対等で安全な接続を実現する「ゼロトラスト」を実現し、ネットワークをより自由で柔軟に活用する方法や、新しいビジネスモデル、新しい働き方を実現するためのベストプラクティスを構築、共有することを目的とする。

第１０回ゼロトラスト研究会　５月１２日（木）　オンライン
第１１回ゼロトラスト研究会　６月２日（木）オンライン
第１２回ゼロトラスト研究会　７月７日（木）オンライン
第１３回ゼロトラスト研究会　８月１２日（金）　株式会社 jig.jp 本店セミナールーム
第１４回ゼロトラスト研究会　９月８日（木）　オンライン
第１５回 Internet3 応用研究会　１０月１２日（木）　オンライン
第１６回 Internet3 応用研究会　１１月１７日（木）　オンライン
第１７回 Internet3 応用研究会　１２月８日（木）　オンライン

サイバーバレー分科会

事業概要

福井県に、「サイバーバレー」を構築するための検討を行う。

令和５年度 事業計画（案）

（令和５年４月１日～令和６年３月３１日）

● 渉外部会

福井県を含む、北陸を日本の西海岸、サイバーバレーと呼称し、情報関連新技術の啓蒙・活用・スタートアップの推進・交流を通じて、行政機関、関連団体、他産業との連携を強化し、福井県の発展を図る。

また、10 月 14～15 日に開催される、全国高専プロコンを通じ、サイバーバレー内情報技術を発信する。

事業概要

１ サイバーフライデーの開催

毎月最終金曜日の夜に、技術と交流の場である「サイバーフライデー」を福井県内で開催する。（県内外スタートアップ事業者の招へいなど）

２ セミナーの開催

理事会に合わせ、会員の資質向上に向けたセミナーを開催する。

３ 展示会への協力

北陸県内の展示会に出展協力・参加する。（越前がにロボコン、加能がにロボットコンテスト、魚津紅ズワイロボコン、越後本ズワイカニロボコン）

４ 技術の発信

全国高専プロコンを通じ、「サイバーバレー」の技術を発信する。

５ 行政機関等との連携

情報関連業界への理解を促進するため、行政機関、関係団体等との連携を図る。

６ 会員の拡充

会および情報産業の発展のため、会員の拡充を図る。

７ 部会の開催

事業の企画および実施状況確認のため、部会を年 2 回程度開催する。

● 総務・企画部会

県内情報関連産業界の向上発展を図るための事業を企画・推進する。

事業概要

１ 総会、理事会等の開催

（１）定時総会の開催（令和５年５月２２日（月）ザ・グランユアーズフクイ）

（２）理事会の開催（年６回程度開催予定）

（３）正副会長会議の開催（随時）

２ ふくいＩＴフォーラム２０２２への参画

福井県ＩＴ産業団体連合会が主催する「ふくいＩＴフォーラム２０２３」の企画委員として、企画・運営等に参画する。

※ふくいＩＴフォーラム２０２３（予定）

開催期間：令和５年１０月１９日（木）・２０日（金）

開催場所：福井県産業会館、福井県中小企業産業大学校

３ いしかわ情報システムフェアへの出展

北陸３県の連携を図り、情報システム工業会および会員企業をＰＲするため、「いしかわ情報システムフェア」に出展する。

開催期間：令和５年５月２６日（金）・２７日（土）

開催場所：石川県産業展示館

４ 会員に対する各種情報の提供

国、県および各種団体からの公募、講演会、研修会等の案内情報を会員に提供する。

５ 福井労働局が実施する事業への協力

福井労働局からの委嘱により、労働者派遣事業適正運営事業協力員を派遣する。

協力員：人材確保・育成部会長 向井 邦彦 氏（予定）

６ 会員交流会の開催

工業会会員相互の親睦と交流を促進するため、交流会を開催する。

７ 部会の開催

事業の企画および実施状況確認のため、部会を年２回程度開催する。

● 技術部会

業界に必要な高度な人材の育成、新技術や経営に関する研修・セミナー・シンポジウム等を実施することにより、技術力の向上と業界基盤の確立を図る。

新規に設置される AI 委員会と連携した活動を中心とすることを予定。

事業概要

1 技術者向け講習会の開催

会員各社の技術者を対象に、業界の課題、必要とする技術をテーマに講習会を開催する。

2 先進企業等への視察研修の実施

最新の技術・知識および情報の収得を目的に、先進企業等への視察研修と意見交換会を実施する。

3 産学官連携の推進

福井工業大学 AI ＆ IoT コンソーシアムに、学外ボードメンバーとして参画する。

4 関係機関等との連携

ＩＴ関連の展示会やセミナー等への後援、関係機関への委員の派遣などを行う。

5 セミナーの開催

理事会等の開催に併せ、時宜にかなったテーマを選定してセミナーを開催し、会員の資質向上を図る。

6 部会の開催

事業の企画および実施状況確認のため、部会を年 2 回程度開催する。

● 人材確保・育成部会

高度な人材の確保と育成を図るとともに、会員企業における雇用管理改善に取り組む。

事業概要

１ ふくいソフトウェアコンペティションへの参画

（公財）ふくい産業支援センターが行う「ふくいソフトウェアコンペティション」について、審査員の派遣や賞の供与などに協力する。

２ 学生を対象とした人材確保事業の実施

（１）大学への講師派遣

福井大学、福井工業大学、福井県立大学の情報関連講座に講師を派遣する。

（２）科学技術高校との連携

地域社会、産業に貢献できる人材を育成するため、科学技術高校が実施する地域協働推進事業等に協力する。

（３）事業説明会および交流会の実施

福井大学の学生を対象に、事業説明会および交流会を実施する。

（４）ＩＴフォーラムにおける学生イベントの実施

ＩＴフォーラム企画委員会と連携し、ＩＴフォーラムにおいて学生を対象とするイベントを実施する。

３ セミナーの開催

理事会等の開催に併せ、時宜にかなったテーマを選定してセミナーを開催し、会員の資質向上を図る。

４ 部会の開催

事業の企画および実施状況確認のため、部会を年２回程度開催する。

●　ＤＸオープンラボ運営委員会

（公財）ふくい産業支援センターから委託を受け、「ふくいＤＸオープンラボ」において、ラボの運営管理、県内企業等からの相談対応、勉強会・研究会の開催などの業務を実施し、本県のＤＸ技術の普及を促進する。

実施業務

１　ラボ運営業務

（１）来訪者や見学者への対応

（２）展示物の維持管理

（３）ラボに関する情報発信など

２　相談対応業務

（１）来訪者からの相談に対する対応

（２）定期的な相談会の開催　など

３　勉強会、研究会開催業務

（１）勉強会の開催

（２）研究会の開催　など

４　その他

「ふくいＩＴフォーラム」にラボを紹介するブースを設ける。

実施体制

相談マネージャー（年１８０日）および運営スタッフを配置

定例会（月１回）および委員会（随時）を開催

● 越前がにロボコン実行委員会

「第７回越前がにロボコン」について、共催者として事業に協力する。

１.大会名　　「第７回越前がにロボコン」

２.開催日　　１０月１４日（土）、１５日（日）（予定）
　　※ 全国高等専門学校プログラミングコンテスト（高専プロコン全国大会）
　　と同時開催予定

３.会　場　　サンドーム福井（予定）

４.主　催　　福井県こどもプログラミング協議会

５.共　催　　(一社)福井県情報システム工業会、福井県機械工業協同組合

５.後　援　　福井県　福井県教育委員会　福井商工会議所　福井大学　福井工業大学
　　福井工業高等専門学校　福井新聞社　ＮＨＫ福井放送局　ＦＢＣ　福井テレビ
　　福井県漁業協同組合連合会　ショッピングシティ・ベル（予定）

６.大会概要

・ 市販ロボットキット等を活用し、蟹をイメージする自作のロボットで競技に挑戦する。
・ 対象は小・中学生とし、歩行部門(小中学生)と車両部門(小学生)とする。

※ 越前がにロボコン全国大会は、新幹線開業後の令和６年度に開催予定

● ゼロトラスト委員会

2019 年 1 月に日本政府 2007 が提唱した「DFFT」は G7 での議論が予定され、2022 年 4 月、アメリカから発表された「未来のインターネットに関する宣言」は、日本を含む 61 の国や地域が署名、デジタル社会を迎えるにあたって既存のインターネットセキュリティを見直す必要性が急務となっている。

その実現、社会への普及の鍵となる、2020 年 8 月発表、アメリカ NIST SP800-207「ゼロトラストアーキテクチャ」を理解し、その実装である「Internet3」の応用を通じて、福井発の新事業創出を狙う。

1. オンラインを活用したリアルタイムなコミュニティの立ち上げ
2. 毎月、最終金曜日夜、技術とリアル交流の場、サイバーフライデーでの情報共有

● ＡＩ委員会

福井工業大学 AI&IoT コンソーシアムとも連携し、大規模言語モデルを中心としたＡＩに関する勉強会や実証実験、セミナー等を実施する。（委員会は３回程度開催予定）

1. AI 勉強会 [2023 年 5~7 月]
 第 1 回：大規模言語モデル 基礎からの総論 2023 年春版
 - IT 企業の 経営者/一般社員/技術者向け
 講話 ＋ 質疑応答 120 分 ＋ 懇親会（参加会社負担）
 メイン話者/ファシリエーター：後 サポート：芥子先生
2. 大規模言語モデルの実証実験（コンソーシアム 大規模言語モデル活用 WG 活動）
 - OpenAI の API（クラウド） or Azure の OpenAI API の具体的活用
 例）ソフトウェアサポートの自動回答
3. 福井工業大学 AI＆IoT センター視察（FAS 技術部会主催 企業視察を兼ねる）
 [2023 年 7~9 月]
4. 県内一般企業、自治体・学生向け イベント
 - 学生・社会人向け AI プログラミング教室 [2023 年 5~7 月] 後援
 芥子先生企画、福野理事も登壇
 - 経営者/一般社員/自治体職員向け 講演会[2023 年 10 月]
 ふくい IT フォーラム会場で実施を検討
 - AI＆IoT コンソーシアム シンポジウム[2024 年 2~3 月] 後援
5. その他
 - 技術者向け AI 講習
 - 以下のコンソーシアム WG 活動の具体化への協力
 ▼AI&IoT 分散システム・最適化 WG（大下教授、福野部会長）
 - IoT データを収集、解析、活用する分散システムの応用を検討する。
 - 収集したデータを活用する最適化手法の研究を行い、ワーキンググループ内で情報を共有
 - 各企業でシステムの実証実験を実施し、安定稼働のための改善を目指す。
 ▼ディープラーニング組み込み実装 WG（西田教授）
 - 非接触 UI や動作検出（人の動きを検知）など、情報機器や IoT デバイスの制御の応用検討
 - リアルタイム制御や低消費電力化などの研究を行い、ワーキンググループ内で情報を共有
 - 各企業でアプリケーションを試作し、ユーザビリティの向上や市場価値の拡大を目指す。
 ▼衛星データ解析利活用 WG（木森副センター長）
 - 衛星画像データや地球観測データを利用した様々な分野への応用を検討する。
 - 画像解析、時系列解析、機械学習、可視化技術を用いて、衛星データ解析の研究を実施
 - 地域の自治体や関連企業との連携を強化し、地域課題の解決への貢献を目指す。

正味財産増減計算書

2022年4月1日～2023年3月31日

（単位：円）

科　　目	当年度	前年度	増　減
Ⅰ一般正味財産増減の部			
1経常増減の部			
(1)経常収益			
入会金収入	0	0	0
正会員入会金	0	0	0
会費収入	7,080,000	7,380,000	−300,000
正会員A会費	4,398,000	4,578,000	−180,000
正会員B会費	2,160,000	2,280,000	−120,000
正会員C会費	120,000	120,000	0
正会員D会費	162,000	162,000	0
協賛会員会費	240,000	240,000	0
事業収入	7,920,800	8,438,637	−517,837
援助金	146,000	144,637	1,363
受託事業	7,774,800	8,294,000	−519,200
その他	0	0	0
雑収入	296,136	250,121	46,015
受取銀行利息	136	121	15
諸会合会費	23,000	0	23,000
事務受託費	0	0	0
その他	273,000	250,000	23,000
経常収益計	15,296,936	16,068,758	−771,822
(2)経常費用			
管理費支出	7,928,610	6,958,572	970,038
給与・手当	4,108,800	3,979,442	129,358
法定福利費	673,466	637,802	35,664
福利厚生費	141,507	136,507	5,000
会議費	1,124,642	691,469	433,173
賃借費	355,080	327,280	27,800
通信運搬費	153,919	178,466	−24,547
支払手数料	13,640	6,270	7,370
印刷製本費	438,660	137,849	300,811
旅費交通費	27,120	14,300	12,820
消耗品費	27,890	209,087	−181,197
負担金	559,500	356,500	203,000
指導料	105,600	105,600	0
租税公課	10,600	11,200	−600
減価償却費	162,648	151,800	10,848
慶弔費	20,038	10,000	10,038
廃棄損	0	0	0
雑費	5,500	5,000	500
部会費支出計	260,291	189,244	71,047
渉外部会費支出	20,900	13,090	7,810
部会費	0	0	0
例会会場費	15,400	11,440	3,960
例会機器借料	5,500	1,650	3,850
例会会議費	0	0	0
その他支出	0	0	0
総務部会費支出	150,666	150,594	72
部会費	0	0	0
例会会場費	0	0	0
例会機器借料	0	0	0
例会会議費	0	0	0
その他支出	150,666	150,594	72

科　　目	当年度	前年度	増　減
技術部会費支出	76,585	13,090	63,495
部会費	0	0	0
例会会場費	15,400	11,440	3,960
例会機器借料	5,500	1,650	3,850
例会会議費	0	0	0
その他支出	55,685	0	176,740
人材確保・育成部会費支出	12,140	12,470	−330
部会費	2,410	0	2,410
例会会場費	7,730	6,500	1,230
例会機器借料	2,000	5,970	−3,970
例会会議費	0	0	0
その他支出	0	0	0
事業費支出計	6,691,305	7,549,342	−858,037
蟹ロボコンテスト委員会支出	100,000	0	100,000
会場費	0	0	0
その他支出	100,000	0	100,000
DXラボ運営委員会支出	6,591,305	7,549,342	−958,037
人件費	3,508,135	3,761,273	−253,138
相談員人件費	0	2,343,000	−2,343,000
研究会	0	356,210	−356,210
勉強会	0	376,520	−376,520
ラボ管理運営	0	369,592	−369,592
WEB保守	38,610	180,393	−141,783
広報費	0	96,584	−96,584
外国人材受入れ	0	0	0
アジャイル研修	2,088,680	0	2,088,680
学生交流イベント	804,110	0	804,110
独自提案	108,680	0	108,680
運営費	43,090	0	43,090
管理費	0	65,770	−65,770
DX検討委員会支出	0	0	0
委託費	0	0	0
会場費	0	0	0
機器借料	0	0	0
事務費	0	0	0
その他支出	0	0	0
経常費用計	14,880,206	14,697,158	183,048
当期経常増減額	416,730	1,371,600	−954,870
2経常外増減の部			
(1)経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
特別引当金取崩し額	0	0	0
(2)経常外費用			
経常外費用計			
当期経常外増減額			
当期一般正味財産増減額	416,730	1,371,600	−954,870
一般正味財産期首残高	13,080,183	11,708,583	−1,872,526
一般正味財産期末残高	13,496,913	13,080,183	1,955,267
Ⅱ指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
Ⅲ正味財産期末残高	13,496,913	13,080,183	416,730